

令和4年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立六郷中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・タブレット等の ICT を用いた授業展開を行うことで、授業に対する生徒の主体性が高まった。
- ・基礎・基本の問題の正答率が少し上がった。

(2) 課題

- ・活用の正答率が低いため、活用の能力を高める必要がある。
- ・学習したことを長期記憶化する点に課題がある。
- ・地理領域に関する正答率が平均よりもやや低く、基礎力を高める必要がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和4年度結果	令和3年度結果	令和2年度結果
第1学年	区の平均と同等である		
第2学年	区の平均と同等になった。 歴史の正答率が落ちた。	区の平均より少し低い結果だった。 (第1学年時)	
第3学年	地理・歴史ともに、区の平均を下回っている。	地理的分野は区の目標値を上回り、歴史的分野はやや下回っている。 (第2学年時)	全分野、やや区の目標値を下回っている。 (第1学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
区の平均よりやや高いが、全国平均と比べると低くなっており基礎的な知識の活用力を高めることが重要であると考えられる。	区の平均と比べて低くなっており、日常でも思考的な問題に対するの出来が大きく分かれる。	他教科と比べ社会が最も態度が低くなっており、小学校の学習の時点で社会に苦手意識を持っている可能性が考えられる。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
小テストを定期的実施したが、授業の中で知識・技能の定着ができていなかった。	課題解決学習を実施したが、生徒が考えるための時間が不足しており、思考・判断・表現の向上を図ることが難しかった。	一方的な講義型の授業を脱却し、課題解決学習を行ったが、生徒の授業に対する主体性向上を図ることが難しかった。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
区の平均を下回っており、基本的な知識の装着が出来ていなかった。	区の平均を下回っており、思考力を高めるような練習が少ない状態であった。	区の平均をやや下回っており、生徒が主体性を発揮する場面が少ない状態であった。

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
基礎的な知識装着の徹底として、毎授業の小テストで理解度の確認を行う。	課題解決学習で、他者との話し合いにより思考を深め、多くの情報から適切に判断し、発表を通して表現力を身につける。	ICTを活用し、興味関心がわき、主体性が発揮されるような課題解決学習を行う。

（2）第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
調べ学習と課題解決学習を中心にすることで、知識を活用する場面を増やす。	調べ学習と課題解決学習を中心にする中で、班員と情報を交換し合い、教え合、全体に発表する機会を設けることで思考力・表現力・判断力を高める。	調べ学習と課題解決学習を中心にする中で、生徒が自分のペースで主体的に学べる環境を整える。

（3）第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
基礎的な知識装着の徹底として、毎授業の小テストで理解度の確認を行う。	課題解決学習で、他者との話し合いにより思考を深め、多くの情報から適切に判断し、発表を通して表現力を身につける。	学習内容と日常生活のつながりを意識することで、興味関心がわき主体性が発揮されるような課題解決学習を行う。